

科目・分野	週時間数	クラス	担当者	
理科	4	ABC	山田・西村	
目 標	身近な生物や現象に進んで関わり、その観察と実験を通して、科学的な見方や考え方を養う。その中で基礎的な実験・観察の方法を身につけ、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	科学的思考・表現力	観察・実験の技能	知識・理解
	身近な自然現象に関心をもち、日常生活との関わりを考え、探究しようとする態度	身近な自然現象に『なぜだろう』という疑問をもち、観察・実験の結果を分析して、人に伝える力	観察・実験の基礎的な操作や技能の習得および結果を的確に記録・整理する能力	身近な生物や現象について、基本的な概念や原理・法則の理解と知識の蓄積

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生物を観察しよう ・花のつくりとはたらき ・光の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の植物や小動物に関心をもつ ・顕微鏡やルーペなどを正しく操作できる ・花に共通なつくりがあることを理解する ・光の反射や屈折の原理を理解し、身のまわりの器具や現象との関連について知る
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・葉茎根のつくりとはたらき ・植物の分類 ・音の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉のつくりと光合成について理解する ・根と茎の基本的なつくりを理解する ・いくつかの基準により、植物が分類されることを理解する ・音の性質を理解し、身の回りの現象との関連について知る
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の性質 ・水溶液の性質 ・いろいろな力の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・気体と水溶液の性質を理解し、見分ける方法を身に付ける ・さまざまな力の表し方を知り、その性質を理解する
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物質とその性質 ・いろいろな力の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの物質の調べ方とその性質を理解する ・圧力について理解し、求める方法を身に付ける
三学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の姿と状態変化 ・火をふく大地 ・動き続ける大地 ・大地の変化を読みとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質が固体、液体、気体に姿を変えるときの変化と特徴を理解する ・火山について知り、その活動によって作られる岩石や現象を知る ・地震によって起こる現象を知り、そのしくみを理解する ・地形や岩石、地層などが長い時間をかけてつくられたことを知る
評価の方法		定期テスト、小テスト、レポート、実験観察の技能 など	
学習活動の特徴		簡単な実験や観察を可能な限り多く実施する。	
授業の形態		一斉授業・講義・実験・実習など	
使用教科書		『新しい科学1年』（東京書籍）	
使用副教材		『カラーブック理科資料』（東京法令出版）『理科の自主学習1年』（新学社） 『新・毎日の確認 理科1年』（吉野教育図書）	
用意するもの		教科書、ノート、資料集	
備 考		実験の際には理科室を使用する 2つの単元を週2時間ずつで並行して進行する	